訴　　　　状

平成○年○月○日

○○家庭裁判所民事部　御中

　　　　原告訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎　印

本　籍　　東京都○○区○○町○○丁目○番

住　所　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○○番○号

　　　　原　　　　　　　　告　　　甲　　　山　　　明　　　子

〒○○○－○○○○　東京都○○区××○丁目○番○号□□ビル○階

　　　　　　　　　　　　甲野法律事務所（送達場所）

　　　　上記訴訟代理人弁護士　　　甲　　　野　　　太　　　郎

　　　　　　　　　　　　　電　話　０３－○○○○－○○○○

　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ　０３－○○○○－○○○○

本　籍　　東京都○○区○○町○○丁目○番

住　所　　〒○○○－○○○○　東京都△△区□□○丁目○○番○号

　　　　被　　　　　　　　告　　　甲　　　山　　　昭　　　男

離婚等請求事件

　訴訟物の価額　　○○○○円

　貼用印紙額　　　　　○○円

請　求　の　趣　旨

１　原告と被告とを離婚する。

２　原告と被告との間の長女春子（平成○年○月○日生まれ）の親権者を原告と定める。

３　被告は，原告に対し，○○万円及びこれに対する判決確定日の翌日から支払済みまで年５分の割合による金員を支払え。

４　被告は，原告に対し，判決確定日から上記春子が成人に達するまでの間１か月○○万円の金員を毎月末日限り支払え。

５　原告と被告の間の別紙記載の情報に係る年金分割についての請求すべき按分割合を０．５と定める。

６　訴訟費用は被告の負担とする。

請　求　の　原　因

１　婚姻の経緯と婚姻生活

原告と被告とは，約３年間の交際期間を経た上，平成○年○月○日，婚姻・入籍し，被告肩書住所において婚姻生活を開始した。同夫婦間には，平成○年○月○日，長女春子が出生した。

２　被告の不貞行為による婚姻破綻

被告の様子がおかしくなり始めたのは本年○月頃からのことである。

被告の行動に不審を抱いた原告は，同人の行動を調査したところ，訴外人○○○○（以下「訴外人」という。）と交際し同人との間で不貞行為を働いていることが明らかとなった。

被告と訴外人との間には，少なくとも平成○○年○月○日及び○月○○日に被告と訴外人との間に不貞の事実があることが発覚している。

訴外人は被告に原告である妻が存在することを重々承知の上で不貞の関係を結んでおり，この被告らの共同不法行為により，原告と被告との婚姻関係は完全に破綻してしまった。

原告は，平成○年○月○日，長女を連れて実家に身を寄せ，被告と別居することになった。

３　慰謝料請求

原告と被告とは結婚してから○年間，上記のとおり子を設け平穏な夫婦生活を続けてきたが，被告と訴外人との不貞行為による不法行為により，原告の家庭は一挙に崩壊し，原告は深く傷つき精神的に耐え難い苦痛を蒙った。これを慰謝するには，少なくとも○○万円の慰謝料の支払を相当とする。

４　附帯処分等

原告は，長女出生後これまで一貫して監護養育を続けてきており，その成長には母親の存在が不可欠である。これに対し，被告は育児に協力せず長女の世話も殆どしたことがない。したがって，長女の親権者を原告と指定するのが相当である。

原告は無収入であるが，被告は年間○○万円の所得がある。そこで長女の養育費としては，１か月当たり○万円が相当である。

５　年金分割

原告と被告の年金分割のための情報は別紙情報通知書のとおりである。被告は婚姻生活中，主婦として家事育児を行い資産の形成維持に貢献してきたのであるから，按分割合は０．５と定めるべきである。

６　よって，原告は，被告に対し，長女の親権者を原告として離婚を求めるとともに，不法行為に基づく離婚そのものの慰謝料として○○万円及びこれに対する判決確定の日の翌日から民法所定の年５分の割合による遅延損害金の支払を求め，長女の養育費として判決確定の日から成人に達するまで月額○万円の支払を求める。

７　調停の経過

原告は，平成○年○月○日，御庁に夫婦関係調整調停事件を申し立てたが（御庁平成○年（家イ）第○○○号），被告は不貞の事実及び慰謝料の支払を巡って対立し，合意は成立しなかった経緯がある。

１　甲１号証　陳述書

２　甲２号証　源泉徴収票写し

添　　付　　書　　類

１　戸籍謄本　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１通

２　住民票の写し　　　　　　　　　　　　　　　　　　１通

３　調停調書（不成立）　　　　　　　　　　　　　　　１通

４　甲第１号証・同第２号証（写し）　　　　　　　　　１通

５　訴状及び甲第１号証・同第２号証（写し）副本　　各１通

６　証拠説明書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２通

７　訴訟委任状　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１通